

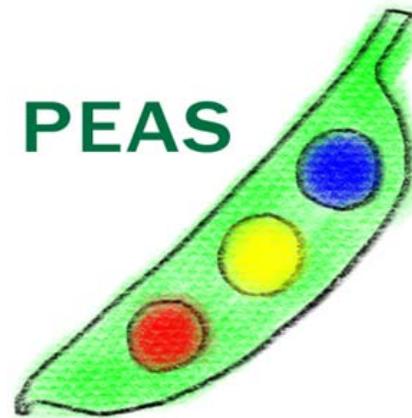
相互評価支援システム(PEAS)による 授業実践について



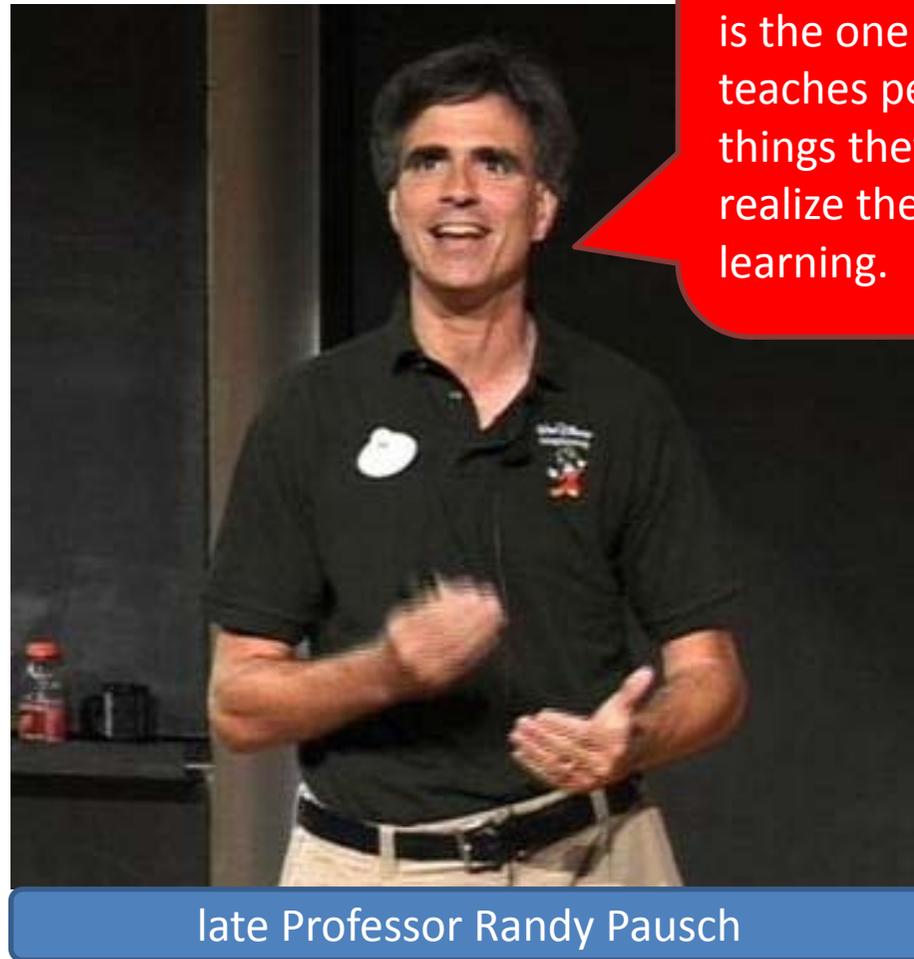
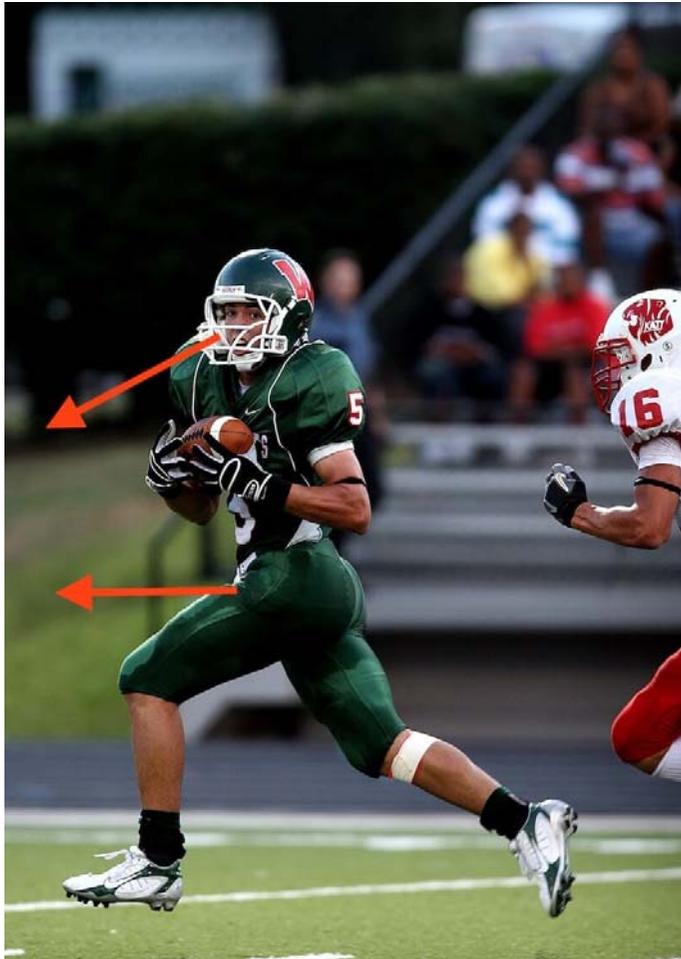
2019年2月28日
法政大学デザイン工学部
豊島 純子

本日の概要

1. デザイン工学部SD学科「プレゼンテーション技術」
2. 成蹊大学理工学部SD学科 「フレッシュャーズ・セミナー」
3. まとめ



Head Fakes



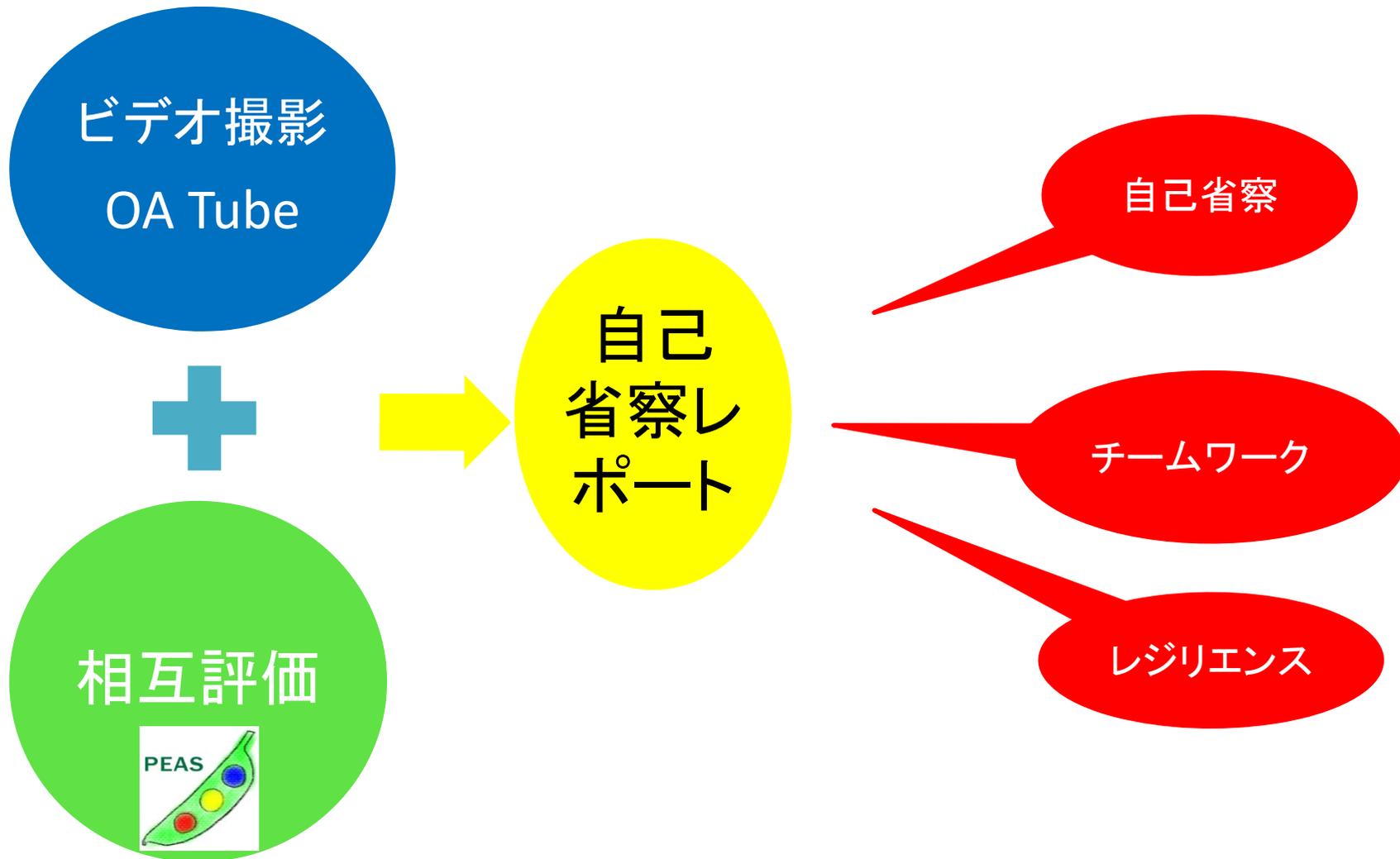
1. 「プレゼンテーション技術」の紹介

(Sept. 2008 to date)

| | |
|-----------|--|
| コース 目標 | “Audience First” の重要性を理解し、聴衆に 受容され共感されるようなプレゼンテーショ ンができるようになること |
| 到達目 標 | コース終了時にはきちんと構成されたストー リーを、印象的なビジュアルを示しながら、 ボディランゲージを上手にとりいれてデリ バリーができるようになること |
| コース 概要 | <ul style="list-style-type: none">・デザイン工学部SD学科2年生・38 students x 2 classes・CD期(14 回)・講義と3 回のプレゼンテーション実習・相互評価とビデオ撮影⇒省察 |

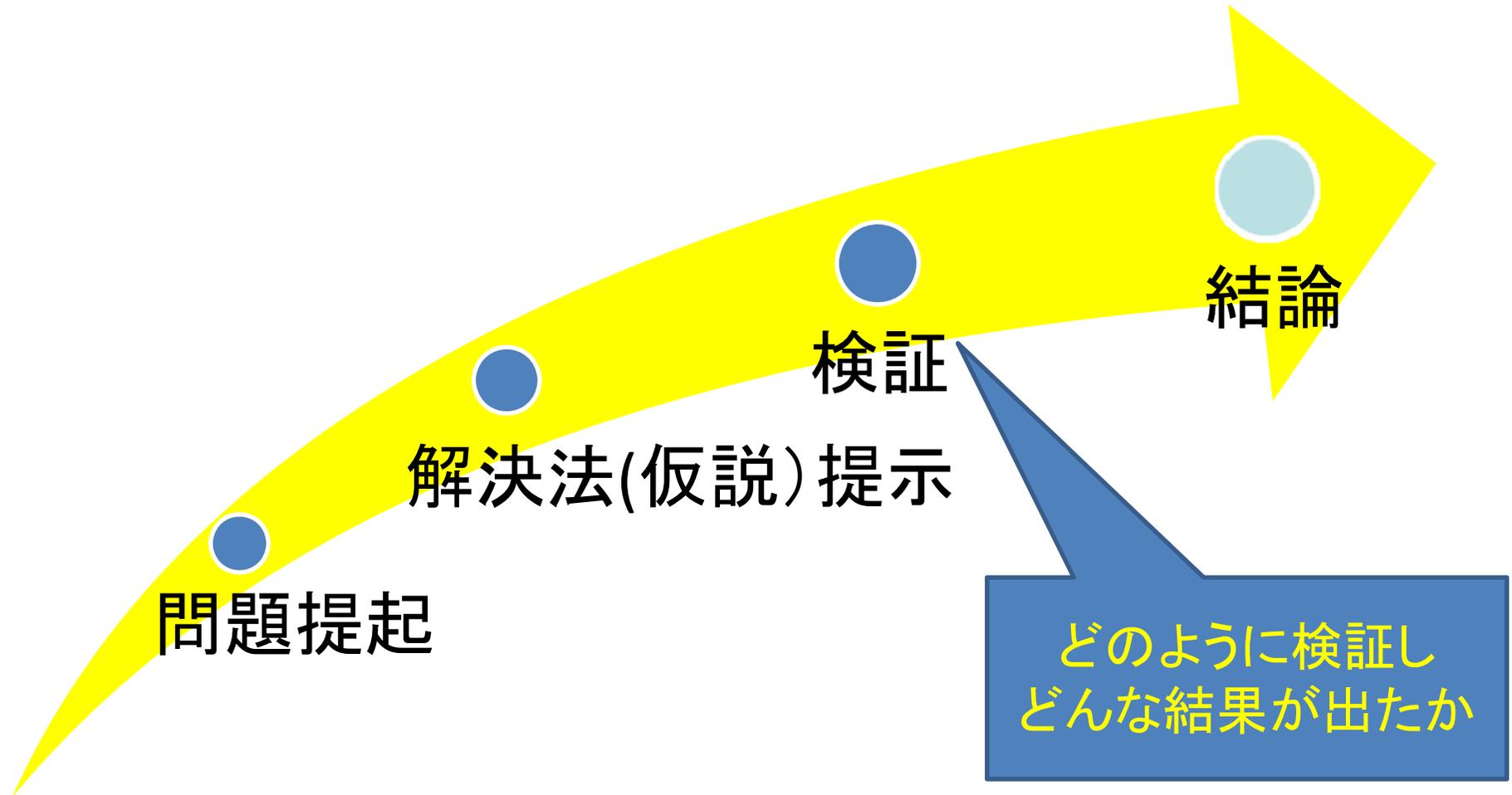


1. プレゼンテーション技術



1. Problem-Based Learning (PBL)

問題解決型プレゼンテーションの流れ



1. 「プレゼンテーション技術」授業日程

| 授業日 | 授業内容(前半) | 授業内容(後半) |
|--------------|---------------------------|--|
| 11/6 | 情報伝達型個人プレゼンテーション実習 | 問題解決型プレゼングループ活動 ⇒アイスブレーキング、問題提起のためのブレインストーミング |
| 11/13 | 英語プレゼン原稿作成 | 問題解決型プレゼングループ活動 ⇒ 問題点の絞り込み(問題提起) |
| 11/20 | 英語プレゼン原稿検討 | 問題解決型プレゼングループ活動 ⇒ 問題の解決方法を決定 |
| 11/27 | 英語プレゼンにむけたイントネーション練習 | 問題解決型プレゼングループ活動 ⇒ 解決方法の検証 |
| 12/4 | 英語プレゼンテーション (個人プレゼンテーション) | |
| 12/11 | 英語プレゼンテーション (個人プレゼンテーション) | |
| 12/18 1/8 | 問題解決型グループプレゼンテーション成果発表会 | |

1.「プレゼンテーション技術」

問題解決型グループプレゼン テーマ (Yクラス)

- G1: 東京オリンピックのボランティアの応募意欲を高める為に(オリンピック)
- G2: 東京オリンピックのボランティア 問題
- G3: スムーズな入眠のために(健康)
- G4: 姿勢の悪さと肥満の問題
- G5: SNS炎上を防ぐために(IT)
- G6: スマホ依存対策
- G7: SNS身バレを防ぎ快適な裏アカライフを過ごすために
- G8: LGBTの生きにくさの解消のために(メンタルヘルス)
- G9 : 自転車のマナーの改善のために(交通)
- G10: オレオレ詐欺対策 (安全・セキュリティー)
- G11 : 大学で変な名前の学部が増えて部分的な専門性のみ高くなってしまった問題について(大学教育)
- G12 : 豊洲市場の土壌汚染と盛土問題(建築)

1. グループ・プレゼンテーション評価項目

| | 大変よくできていた | できていた | できていなかった |
|--------------------------------------|-----------|-------|----------|
| 1. 「問題提起、解決法の提案、検証、結論」と論理的な構成の発表だった。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 2. 提案の解決法が妥当だった | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 3. 導いた結論が妥当であった | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 4. 有益で意義のある研究内容だった。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 5. 明瞭な話し方で理解しやすかった。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 6. 原稿を読まずにアイコンタクトができていた。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 7. 質の高いスライドを上手にを使って発表していた。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 8. 発表者間のつながりがスムーズであった。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 9. 各メンバーが自分の役割を果たしグループ発表に貢献していた。 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 10. グループ発表の総合評価 | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |

1. Yクラス問題解決型グループプレゼン優秀賞 (各設問3点満点)

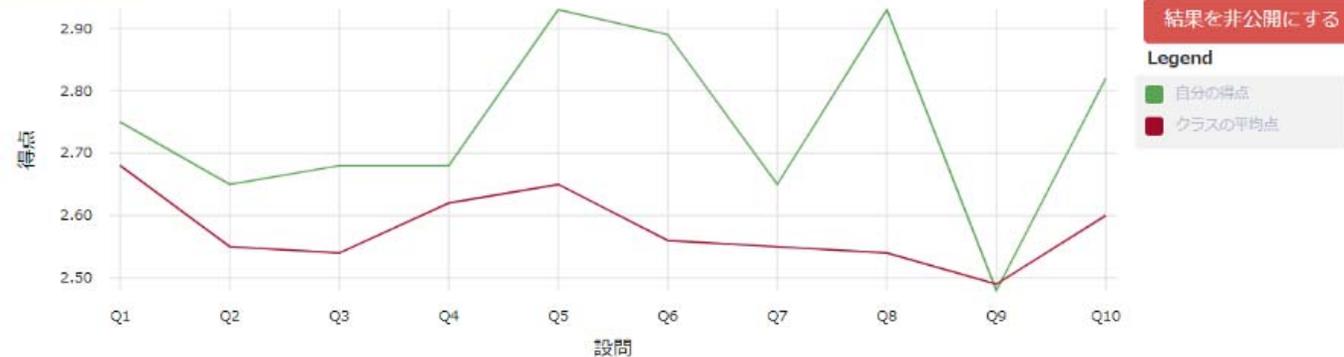
| 設問 | 優勝 G6 | クラス平均 |
|----------------------------------|-------|-------|
| 1. 「問題提起、解決法の提案、検証、結論」と論理的な構成の発表 | 2.75 | 2.68 |
| 2. 提案の解決法が妥当だった | 2.65 | 2.55 |
| 3. 導いた結論が妥当であった | 2.68 | 2.54 |
| 4. 有益で意義のある研究内容だった。 | 2.68 | 2.62 |
| 5. 明瞭な話し方で理解しやすかった。 | 2.93 | 2.65 |
| 6. 原稿を読まずにアイコンタクトができていた。 | 2.89 | 2.56 |
| 7. 質の高いスライドを上手に使って発表していた。 | 2.65 | 2.54 |
| 8. 発表者間のつながりがスムーズであった。 | 2.93 | 2.54 |
| 9. 各メンバーが自分の役割を果たしグループ発表に貢献していた。 | 2.48 | 2.49 |
| 10. グループ発表の総合評価 | 2.82 | 2.60 |
| 合計 | 27.46 | 25.76 |

PEASによる問題解決型グループ・プレゼンテーション 相互評価例

問題解決型グループ・プレゼンテーショングループ6

評価結果

結果:公開中



| 問題 | 評価の平均点 |
|--|----------|
| Q1. 「問題提起」「解決法」「検証」「結論」などが順序だてて示されている論理的な構成のグループ・プレゼンテーションだった。 | 2.75 / 3 |
| Q2. 「提案した解決法」が妥当と判断できた。 | 2.65 / 3 |
| Q3. 「導かれた結論」が妥当と判断できた。 | 2.68 / 3 |
| Q4. 有益で意義のある研究内容だった。 | 2.68 / 3 |
| Q5. 明瞭な話し方で理解しやすかった。 | 2.93 / 3 |
| Q6. アイコンタクトができていた。 | 2.89 / 3 |
| Q7. 質の高いスライドを上手に使って発表していた。 | 2.65 / 3 |
| Q8. 発表者間のつながりがスムーズであった。 | 2.93 / 3 |
| Q9. 発表しないときもスライド操作を行うなど、各自が役割を果たし、グループ・プレゼンテーションに貢献していた。 | 2.48 / 3 |

問題解決型グループ・プレゼンテーション

PEASによる記述式コメント例

Q13. Speaker 3へのコメント 23

- 非表示にする | はきはき話せていました。スマホの身体に及ぼす危険に言及し、そこから断食をすすめるという展開も説得力がり、まとめが上手でした。チームワークのとれたよいプレゼンテーションでした。 教員 豊島 純子
- 非表示にする プレゼンのまとめが上手だった _____
- 非表示にする 話し口調で良かった |
- 非表示にする アイコンタクトが良かった。
- 非表示にする アナウンサーのようで上手だったです |
- 非表示にする アイコンタクト、ジャスチャーがよくとれていてよかったと思いました。
- 非表示にする 話すときの表情やアイコンタクトがとてもよかったです。
- 非表示にする 提案や結論の述べ方がよかった
- 非表示にする 落ち着いた話し方で聞き取りやすかった _____
- 非表示にする 抑揚が素晴らしかった
- 非表示にする はっきりとした発音ですごい |
- 非表示にする 良かったです。わかりやすく紹介した。
- 非表示にする 聞きやすかった
- 非表示にする アイコンタクトを心掛けているのがわかり良かったです。
- 非表示にする 考えさせらる内容だった
- 非表示にする りんちゃん、怖かった、気をつけます
- 非表示にする まとめがスムーズで良かった。
- 非表示にする 繋げ方がいい
- 非表示にする 出席者を見ていた
- 非表示にする 表情によってメッセージが伝わりやすかったです。 _____
- 非表示にする すごく聞き取りやすかったです！
- 非表示にする 話し方に重みがあった
- 非表示にする 聴きやすく良かった |

コメントは
記名式or
無記名式を
選択可能

1. プレゼンテーション技術 自己省察レポート

Presentation Skills (Y・X)

January 8, 2019

Student No. _____

Name: _____

第二回日本語プレゼンテーション（問題解決型グループプレゼン）を終えて

相互評価結果とビデオ録画を参考に問題解決型プレゼンテーションを振り返り、以下の内容についてのレポートを書きなさい。

| ● 発表テーマ：○ | 相互評価点数○ | 自己評価点数○ |
|--|---------|---------|
| 1. 問題提起、解決法、検証、結論などが順序だてて示されている論理的構成のグループ・プレゼンテーションだった。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 2. 「提案した解決法」が妥当と判断できた。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 3. 「導かれた結論」が妥当と判断できた。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 4. 有益で意義のある研究だった。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 5. 明確な話し方で理解しやすかった。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 6. アイコンタクトができていた。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 7. 質の高いスライドを上手にを使って発表していた。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 8. 発表者間のつながりがスムーズだった。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 9. 発表しない時もスライド操作など、各メンバーが自分の役割を果たしてグループ・プレゼンテーションに貢献していた。○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 10. グループ・プレゼンテーションの総合的な評価○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 合計○ | /30.0○ | /30.0○ |

● Story Messages (評価項目1-4) についての課題○

1. 問題提起、解決法、検証、結論などが順序だてて示されている論理的なグループプレゼンを発表できたか？○
2. 提案した解決法が妥当と証明できたか？○
3. 「導かれた結論」が妥当であると証明できたか？○
4. 自分たちの研究が有益で意義のある内容だったと証明できたか？○

<Story Message>○

| | |
|---------------------------|---|
| 1 論理的なグループプレゼンを発表できたか？○ | ○ |
| 2 「提案した解決法」が妥当と証明できたか？○ | ○ |
| 3 「導かれた結論」が妥当であると証明できたか？○ | ○ |
| 4 有益で意義のある研究であった証明できたか？○ | ○ |

● Physical Messages (評価項目5~6) についての課題○

5. 明確で理解されやすい話し方ができたか？○
6. アイコンタクトができていたか？○

| | |
|-------------------|---|
| 5. 明確な話し方ができたか？○ | ○ |
| 6. アイコンタクトができたか？○ | ○ |

● Visual Message(評価項目7)についての課題○

7. 質の高いスライドを上手にを使って発表できていたか？○

| | |
|------|---|
| 7. ○ | ○ |
|------|---|

● チームワーク (評価項目8-9) についての課題○

8. 発表者間のつながり(関係)がスムーズだったか？○
9. 発表時以外にもスライド操作を含め、各自が自分の役割を果たしてグループプレゼンに貢献していたか？○

| | |
|--|---|
| 8. つなぎ(関係)がスムーズだったか？○ | ○ |
| 9. スライド操作等、各自が自分の役割を果たしてグループプレゼンに貢献していたか？○ | ○ |

● グループ・プレゼンテーションの総合評価 (評価項目10) を見てどのように感じたか？○

| | |
|-------|---|
| 10. ○ | ○ |
|-------|---|

● 自分以外のグループメンバーのグループ活動への貢献度を評価 (メンバー1,2,3 の欄にはメンバーの名前を記入) ○

| ○ | メンバー1○ | メンバー2○ | メンバー3○ |
|--|--------|--------|--------|
| 1. いつも課題に集中して取り組み、やるべきことを実行していた。○ | /3.0○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 2. いつもミーティングに出席した。○ | /3.0○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 3. いつも他のメンバーの意見や見方を尊重した。○ | /3.0○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 4. いつも自分の分担された課題を準備し、十分な知識を有していた。○ | /3.0○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 5. いつも自分のアイディアを他のメンバーと共有し、グループ・プロジェクトに貢献した。○ | /3.0○ | /3.0○ | /3.0○ |
| 合計○ | /15.0○ | /15.0○ | /15.0○ |

1. プレゼンテーション技術

相互評価のコメントへの感想例(Y)

- 教員のコメントを聞く機会はあるが、クラスメートの率直な意見を聞く機会はないので良かった。
- クラスメートに指摘されたことをビデオで確認できたので、直そうと思えた。
- 自分が思っているほど出来ていないところ、意外とできているところが客観的にわかって参考になった。
- 良い部分だけではなく、こうすればさらに良いというコメントもあり、参考になった。
- クラスメートの声をきくことで自分の不足点が客観的にわかった。
- 誉めてもらおうと嬉しいし、だめだと思ったところはクラスメートも大体同じコメントをしていた。
- 客観的に自分を理解することが殆どないので参考になった。
- 嬉しかったり、直そうとおもったりで、大変よかったです。

2. 成蹊大学「フレッシュヤーズ・セミナー」 Manner Check

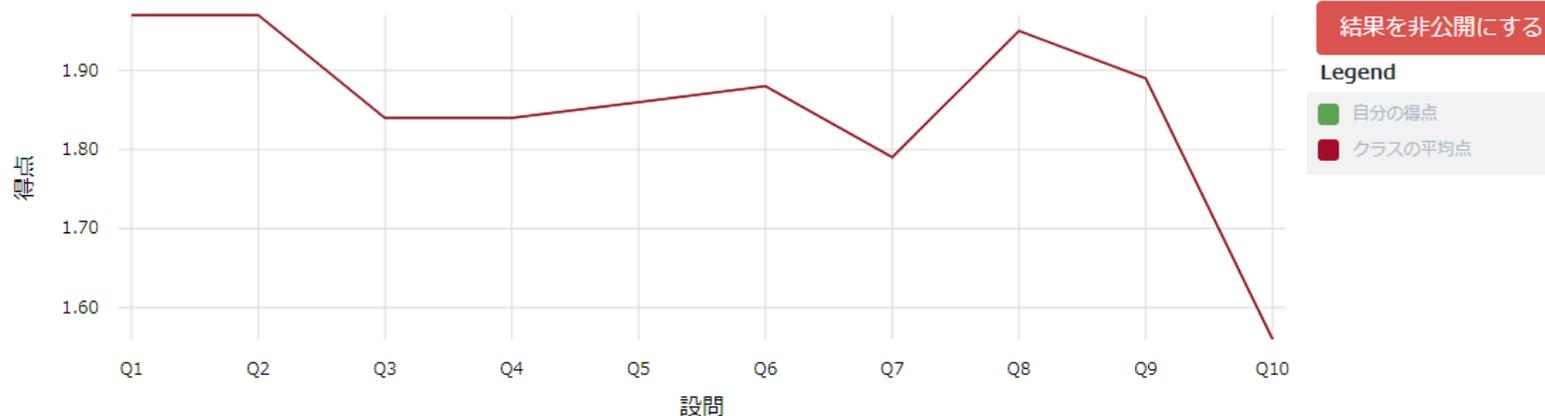
- PEASのアンケート機能で学生のマナー診断を実施
- QRコードを読み込みマナーチェックページにログイン
- 二択式の設問とコメント記入欄
- 126名の学生の大規模授業で使用できた



2. 成蹊大学フレッシュヤーズ・セミナー マナー・チェック項目

1. エレベータを待つ時に降り口をあけている
2. 他の人のためにドアを開けて待ってあげられる
3. きちんと挨拶ができる
4. 授業中は私語は慎んでいる
5. 遅刻せずに時間を厳守している
6. 授業中にスマホをいじらない
7. 公道で横一列に広がったり、大声で話しながら歩かない
8. 帽子を被ったまま授業を受けない
9. エレベータ行列に友達がいても割り込まず後ろに並べる
10. スマホを操作しながら歩いたり、自転車に乗らない

マナーチェック 豊島 純子 評価結果 結果:公開中



結果を非公開にする

Legend

- 自分の得点
- クラスの平均点

| 問題 | 評価の平均点 |
|-------------------------------------|----------|
| Q1. エレベータを待つときに降り口をあけている | 1.97 / 2 |
| Q2. 他の人のためにドアを開けて待ってあげられる | 1.97 / 2 |
| Q3. きちんと挨拶ができる | 1.84 / 2 |
| Q4. 授業中は私語を慎んでいる | 1.84 / 2 |
| Q5. 遅刻をせずに時間を厳守している | 1.86 / 2 |
| Q6. 授業中にスマホをいじらない | 1.88 / 2 |
| Q7. 公道を横一列に広がったり、大声で話しながら歩かない | 1.79 / 2 |
| Q8. 帽子を被ったまま授業を受けない | 1.95 / 2 |
| Q9. エレベーター行列に友達がいる時も割り込みせずに列の後ろに並べる | 1.89 / 2 |
| Q10. スマホを操作しながら歩いたり、自転車に乗らない | 1.56 / 2 |

PEASによるマナー・チェックの記述式コメント例

Q11. 大学生として自分なりに気をつけているマナーがありますか？ 98

- 非表示にする きちんと挨拶する guest
- 非表示にする 投稿テスト guest
- 非表示にする むやみに大声を出さない guest
- 非表示にする やばいやつだと思われないように平然を装う guest
- 非表示にする だらしない格好はしない guest
- 非表示にする 電車で座っている時、お年寄りの方や身体が不自由な方に席を譲るようにしている guest
- 非表示にする 食事マナー guest
- 非表示にする 特になし guest
- 非表示にする 電車で騒がない guest
- 非表示にする 誰にでも挨拶 guest
- 非表示にする 電車で騒がない guest
- 非表示にする エスカレーターで走らない guest
- 非表示にする 公共交通機関で静かにしている guest
- 非表示にする 1人の大人として見本になるように行動する guest
- 非表示にする 身だしなみ guest
- 非表示にする 挨拶 guest
- 非表示にする 満員電車の時リュックを前に抱える guest
- 非表示にする 電車でカバンが邪魔にならないようにする guest
- 非表示にする きちんと並ぶ。 guest
- 非表示にする 人に迷惑をかけないようにする guest
- 非表示にする 他人に失礼なことはしない guest
- 非表示にする お年寄りに席を譲る guest
- 非表示にする 電車や人混み guest
- 非表示にする 席は詰めて座る guest
- 非表示にする 時間厳守 guest
- 非表示にする ごみはゴミ箱にちゃんと捨てる！ guest
- 非表示にする 上下関係 guest
- 非表示にする 公共の場で騒ぎすぎない guest
- 非表示にする 迷惑を guest
- 非表示にする 他人に迷惑をかけない。 guest

3. まとめ

<授業実践の考察>

1. PBLによるグループ・プレゼンテーションの相互評価にPEASを活用できた。
2. 100人以上の大規模授業でもPEASが利用できた。

ご清聴ありがとうございました

**Thank you for your kind
attention!!**

